

平成22年第4回定例会一般質問通告一覧表

質問順	受付月日	12.3	通告者	11番	戸津川 晴美
1番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	ワクチン助成の拡大について				
	子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン接種への公費助成の内容と実施方法について問う。				
2	子どもの遊び場確保について				
	八幡二丁目の八幡公民館裏空き地を子どもたちが遊べる広場にしたいが、いかがか。				

質問順	受付月日	12.3	通告者	7番	森 長一郎
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	防災について				
	(1) 「緊急地震速報」の活用が宮城県内の教育現場で進んでいないとの河北新報の報道があったが、多賀城市内小・中学校の現況と対策を伺う。				
	(2) 一部地域では、防災訓練に地域の中学校、中学生の参加を試行している。本市でも推進すべきと考えるが、市長の考えを伺う。				
2	シルバー人材センターについて				
	事業仕分けにより、シルバー人材センターへの国庫補助が30%カットという方向性が打ち出されているが、その内容と対応を伺う。				

質問順	受付月日	12.3	通告者	9番	板橋 恵一
3番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	八幡字一本柳地区の工業団地化構想（企業誘致策）について				
	(1) 造成時総費用について伺う。				
	(2) 地権者からの土地買入れ価格と造成地の分譲価格について伺う。				
	(3) 企業への市長のトップセールスの現況について伺う。				
2	JR仙石線多賀城駅周辺で進む高架化事業、区画整理事業、再開発事業の現況について				
	(1) 仙石線多賀城地区連続立体交差事業の高架化の現在の進捗状況と高架下の活用について伺う。				

<p>(2) 多賀城駅周辺土地区画整理事業の進捗状況と公有地の現況について伺う。</p> <p>(3) 多賀城駅南側の更地の現況について伺う。</p> <p>(4) 多賀城駅北地区第一種市街地再開発事業の進捗状況について伺う。</p> <p>(5) 歩道橋（留ヶ谷八幡沖線）の利活用状況について伺う。</p>
--

質問順	受付月日	12.1	通告者	8番	雨森修一
4番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	多賀城南門の復元計画について				
	<p>「悲願の南門復元実現へ意欲」と新聞報道されたが、6万市民が本当に必要だと望んでいるのか、よく市長は考えるべき。</p> <p>また、計画が実現しても、未来永劫維持管理をし続けなければならない。市の負の遺産になりかねないのではないか。</p>				
2	市道の制限速度について				
	<p>現在工事中の市道留ヶ谷線（多賀城生協前より県道多賀城停車場線までの区間）について、30kmの速度制限を行うよう関係機関に働きかけてはどうか。</p>				

質問順	受付月日	12.3	通告者	1番	柳原清
5番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	工業団地化構想と雨水対策について				
	<p>(1) 本年度第3回定例会で藤原議員の「工業団地予定地に西部地域の雨水が集中するのでは」という質問に対し、市長は「複数の排水路を経由して地区外に流出しているので、工業団地予定地域に集中するという認識は持っていない」と答弁しているが、宮城県「砂押川全体計画」によれば「堤内地盤が河川の水位よりも低いため、その全量をポンプにより排水するよう計画されている」とある。砂押川全体計画との整合性はどうか。豪雨時の内水位、砂押川高水位との関係で検討はされたのか。</p> <p>(2) また「庚田排水樋門より砂押川の水位が高くなるのは50年に1度なので、当面は南宮ポンプ場を整備しなくても良い」という要旨の答弁があったが、認識が違うのではないか。</p>				
2	子どもの医療費助成について				
	<p>平成21年4月より子どもの医療費助成が小学校就学前まで拡充されたが、更なる拡充をされたい。</p>				

3	TPP問題について	
	(1) TPP参加で日本の食糧自給率は40%から14%に急落することが予想されている。市民が望んでいるのは「安全で安心な食料は日本の大地から」ということである。この点について市長の見解はどうか。	
	(2) 農業は単なる数字だけでは測れない多面的な機能を持っている。この点についての見解はどうか。	
4	米価下落対策について	
	(3) 以上の点を踏まえ、TPPへの参加に反対する立場を明確に表明すべきではないか。	
	2010年産米の概算金が、60キロ当たり8,700円。昨年の価格と比べ約30%も下がっている。市としても緊急融資制度等何らかの対策が必要と思うがいかがか。	

質問順	受付月日	12.3	通告者	6番	金野次男
6番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	歴史的文化遺産について				
	史跡調査50年を終え、東北の中心地、政庁跡や外郭南門等が明らかになった。今後の整備基本構想・基本計画等を早急に策定し、市民に公表すべきではないか。				
2	地震対策（地震に強いまちづくり）について				
	(1) 公共施設の耐震診断及びその対処について、平成22年度末までの進捗状況を伺う。 (2) 診断の結果、特に東庁舎の改修を今後どのように進めていくのか公表されたい。 (3) 災害時の避難場所となる各小・中学校屋内体育館について、天井からの落下物防止対策をどう考えているか伺う。				

質問順	受付月日	12.3	通告者	2番	佐藤恵子
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	市長の政治姿勢を問う				
	国保税で市民に新たな負担をお願いせざるを得ない中、2億円超の黒字を出している水道料金は引き下げるべき。				
2	住宅リフォーム助成制度実現に向けての進捗状況はいかがか				
	(1) 来年度実施に向けてその概要を明らかにされたい。 (2) 幅広い業種、業者がその恩恵を受けられるような制度にされたい。				

質問順	受付月日	12.2	通告者	5番	米澤 まき子
8番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	施設分離型小中一貫教育の取り組みについて				
	<p>「中一ギャップ」や学力低下・少子化に対応するため、全国で特例校として800近い学校で、小中一貫教育に取り組んでいる。本市でも、小中施設分離型の小中一貫教育の取り組みを実施してはいかがか。</p> <p>(1) 小中一貫教育の取り組みを踏まえて、小学校高学年からの教科担任制導入について</p> <p>(2) 中学校区での小中交流拡大を市内全校同一歩調で行うことについて</p>				
2	市独自の特別支援事業について				
	<p>子どもの成長・発達に不安を持つ保護者の方々の相談窓口として、現在「太陽の家」で行っている療育指導、相談事業をまとめ、専門機関との連携を図り、相談支援ファイルの活用と乳幼児期から成人期に至る一貫した市独自の特別支援事業を行ってはいかがか。</p>				

質問順	受付月日	12.1	通告者	13番	吉田 瑞生
9番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
	多賀城跡調査50周年記念の今年を契機に、調査成果と特別史跡多賀城跡附寺跡の象徴（シンボル）をつくる、外郭南門の復元事業に着手するため、市制施行40周年の平成23年度に予算化することについて				
	<p>(1) 多賀城跡外郭南門の復元事業計画についての日程（スケジュール）作成について</p> <p>(2) 文化庁との協議、資材の調達、棟梁の選定等の取組について</p> <p>(3) 現存する多賀城跡建物復元調査検討委員会の再構築について</p> <p>(4) 「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（通称歴史まちづくり法）」に基づく、平成22年度中の認定に対する進捗状況と見通しについて</p>				

質問順	受付月日	12.3	通告者	15番	松村 敬子
10番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	市民活動サポートセンターへのエレベーター設置について				
	<p>本市は、市民主体、市民参加のまちづくりを目指している。その拠点となる市民活動サポートセンターの利便性向上の観点から、エレベーターの設置をされたい。</p>				

2	歴史的風致維持向上計画について
	<p>今年度中の認可を目指し作成中の計画であるが、その重点地区となる中央公園南面の現計画を、以下の理由から変更されたい。</p> <p>(1) 現計画は、歴史的風致維持向上計画の目的である歴史的風致向上を損ねると考えるがいかがか。</p> <p>(2) 地域経済活性につながる観光産業創造拠点として活用すべきと考えるがいかがか。</p>

質問順	受付月日	12.2	通告者	12番	中村善吉
11番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	大代横穴古墳の管理について				
	<p>近年、大代横穴古墳（墓群）の穴天井部2ヶ所が崩落し、そのうち1ヶ所は何年か前、2ヶ所目は本年9月とのことであるが、</p> <p>(1) 管理の実態はどうなっているか。</p> <p>(2) 崩落対策及びその補修は。</p> <p>(3) 横穴古墳周辺の管理はどうなっているか。</p>				
2	暫定排水ポンプ場の管理について				
	<p>現在、主要雨水幹線から外れた地区に、暫定ポンプ場が12ヶ所あり、いずれも各地区で市民の安心安全を担っているが、</p> <p>(1) 日常の管理分担はどうなっているか。</p> <p>(2) 押し出し排水方式に改善できないか。</p> <p>(3) 停電対策はどうなっているか。</p>				

質問順	受付月日	12.3	通告者	14番	相澤耀司
12番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	図書館について				
	<p>下関の図書館では、蔵書の出し入れ等についてICタグによるコンピューター管理をしており、少人数で手早く確実に作業が行われておりました。今後、多賀城市での図書館管理にぜひ活用すべきと思いますが、いかがでしょうか。併せて近隣市町との合同管理も提案いたします。</p>				
2	国府多賀城駅周辺整備について				
	<p>国府多賀城駅周辺の整備について、清水沢多賀城線関連整備や、パーク&ライド駐車場のあり方についてお聞きします。</p>				

3	名刺にカルタの活用を
	生涯学習100年構想実践委員会と教育委員会の共同で、「史都 多賀城ふれあいカルタ」を作りました。今回、福山市を視察した時に、市の広報担当の方が、名刺の裏に同市のカルタを活用されているのをお聞きいたしました。多賀城には、既にすばらしいカルタがあります。市のPRとして、職員の方の名刺にも活用されてはいかがでしょうか。

質問順	受付月日	12.2	通告者	3番	深谷晃祐
13番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	一次産業の振興策について				
	<p>(1) 市長は、2期目の公約として、農家の自立支援と地場産品の流通販売の確立及び「道の駅」の創設を検討とありますが、現時点での具体的構想を伺う。</p> <p>(2) 「農商光連携」(農業・商業・観光の連携) 新たな商品の開発支援とありますが、具体的な構想を伺う。</p> <p>(3) 本年度の米価の大幅下落に引き続き、2011年度には更なる減反の強化が見込まれ、農家の現状は大変厳しい状況にある。市長は、今後の多賀城市の農政をどのように牽引していくおつもりなのか伺う。</p>				

質問順	受付月日	12.3	通告者	10番	藤原益栄
14番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	「道の駅」の設置場所について				
	市長は、9月議会で「道の駅」の設置予定箇所を「多賀城インター付近」と答えた。しかし、多賀城跡への誘客と利便性の確保、投資効率、採算性等から、「道の駅」は中央公園内に予定している「管理センター」を拡充し、物産館を兼ねた施設にするべきと考えるがいかがか。				
2	図書館の体制について				
	来春、開館以来司書を務めてきた職員が退任されるようであるが、引き継ぎの体制はどうなっているか。				
3	多小、山王小の学校日誌について				
	<p>(1) 本市の現代史解明のために、山王小学校日誌を活字化し冊子化されたい。</p> <p>(2) 両校の学校日誌は、本市の文化財指定に値すると考えるがいかがか。</p>				

質問順	受付月日	12.3	通告者	4番	伏谷修一
15番	答弁者	教育長	発言時間	30分	
<p>安心で安全に子どもたちが携帯電話等を利用できる環境整備の必要性について</p> <p>携帯電話の所持率が急激に高まるとともに、低年齢化も進んでいる。また、トラブルの要件も、金銭的問題だけではなく精神的な問題等拡大傾向にある。利用環境の安全対策が必要と考えるがいかがか。</p> <p>(1) 平成21年に施行された「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」では、保護者に対して適切にインターネットを利用させる責務を課しているが、小・中学校への対応を伺う。</p> <p>(2) 文部科学省が平成20年に調査し昨年5月に発表があった「子どもの携帯電話等の利用に関する調査」の結果について、本市の状況と照らし合わせた所見を伺う。</p> <p>(3) 携帯電話を持ち始める際に、家庭で知識やルールを指導するマニュアルが必要と考えるがいかがか。</p>					

質問順	受付月日	12.3	通告者	18番	昌浦泰已
16番	答弁者	市長	発言時間	30分	
<p>新年度予算編成について</p> <p>(1) 「選択と集中」をどのように図り、重要な施策を実現して行くのか。</p> <p>(2) 排除すべきは借金である。よって、収入何ヶ月分に当たる借金があるか「実質債務月収倍率」を過去3年度計算し、新年度はどの位に抑える方針か。</p> <p>(3) インセンティブ予算を導入しているのは承知しているが、今後更なる全庁的な取り組みのお考えは。</p> <p>(4) 新年度も妊婦無料健診14回を堅持し、妊婦健診の項目に、成人T細胞白血病の抗体検査を実施するお考えはおありか。</p>					

質問順 17番	受付月日 12.3	通告者 16番	根本朝栄
	答弁者 市長・教育長	発言時間	30分
1	通学路の安全確保について		
	<p>東北本線北側の南宮（上南宮、町）、山王（三千刈、北寿福寺、西町浦、掃下し、東町浦）地区から山王小学校に通う子どもたちの安全を確保するため、次の点について早期に改善を図られたい。</p> <p>(1) 市道中山王1号線から市道西町浦3号線の間にある水路沿いの狭い道路は、指導要綱路線となっているもののまだ整備されておらず、通学路の安全確保のため早期に整備を実施すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 市道新田上野線と市道新田下1号線が交差する十字路には信号機が設置されていないため、登下校時に交通量の多い新田上野線を横断しなければならず大変危険な状況となっていることから、子どもたちの安全確保のため「押しボタン式信号機」の設置を関係機関に強力に働きかけられたい。</p>		
2	道路の拡幅について		
	<p>三陸自動車道の側道である市道市川八幡1号線は、幅員が狭く、度々接触事故が発生している。一本柳の工業団地用地とも隣接し、重要なアクセス道路となっていることから、拡幅整備についての今後の計画はいかに。</p>		
3	待機児童解消について		
	<p>山王市営住宅の跡地を活用し、民間保育所を誘致することについてはこれまで提案してきたが、このほど解体工事も完了していることから、待機児童解消のため積極的に民間保育所の誘致をすべきではないか。</p>		